

植栽直後の広葉樹に発生した虫獣害

1 研究の背景

近年、広葉樹造林の気運が高まりをみせている。広葉樹にどのような虫獣害が発生するかよく知られていないことから、加害種及び立木に与える影響について調査した。

2 研究方法と結果

遠野市と岩手町の広葉樹植栽地で虫獣害の発生状況を調査した。植栽直後から4～7年生まで毎年調査して被害推移を把握した。

広葉樹植栽木に発生した虫獣害を表に示す。

コウモリガなどの穿孔虫やノウサギなどの獣類は幹を直接加害するため、枯死の危険性が大きくなる。

3 成果の活用

造林樹種の選定にあたり判断材料の一つとしていただきたい。また、この調査は15道県参加の共同研究として行われた。表以外にも病虫獣害発生情報の集積（岩手県林業技術センター研究成果資料No.81に記載）があるので、参考にいただきたい。

表 遠野市試験地^{注1}と岩手町試験地^{注2}で確認された加害種および木への影響

樹種	加害種	加害部位	影響 ^{注3}	頻度	備考
ノリウツギ	カモシカ	枝	小	少	
ヤマハギ	ノウサギ	幹	大	多	主軸切断→萌芽くりかえし。
アキグミ	ノウサギ	幹・枝	中	多	主軸切断→萌芽くりかえし。
	カモシカ	枝	小	少	
	シャクガ科幼虫	葉	小		
シラカンバ	コウモリガ	幹地際	大	多	地際から折れて枯死。幹の上部で折れることもある。 周期的に大発生
	オオスイコバネ	葉	小		
タニガワハンノキ	コウモリガ	幹地際	大	少	
ミズナラ	ノウサギ	幹・枝	中	多	
	コウモリガ	幹地際	大	少	
	アブラムシ	枝葉	小	少	
ナナカマド	コウモリガ	幹地際	大	少	
	カモシカ	枝	小	少	
イタヤカエデ	ノウサギ	枝先	小	少	
トチノキ	カモシカ	芽	中	多	枯死はしないが、樹形の悪化著しい。
	ゴマフボクトウ	幹	中	少	

注1：遠野市の高標高地（800m）に上表のイタヤカエデ・トチノキ以外の樹種を混植した。面積は9ha、その一部は0.08haの調査地を設けて調査した。

注2：岩手町（350m）にイタヤカエデ・トチノキを植栽して調査した。調査面積は0.09ha。

注3：影響「大」→枯死もしくは樹形の著しい悪化がみられる。「中」→成長に影響があるとみられる。「小」→成長に与える影響は小さい。

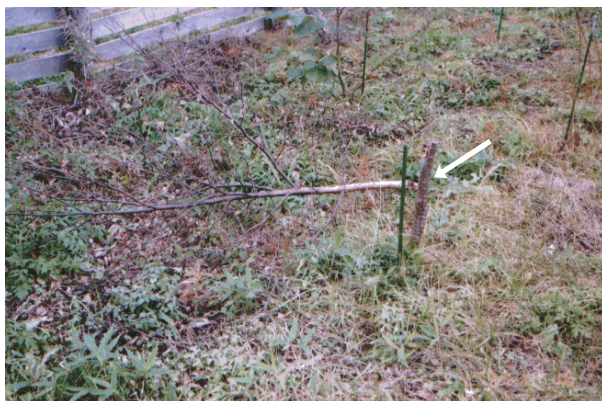


写真1 コウモリガ被害木（シラカンバ）



写真2
カモシカ被害木
（トチノキ）

（担当 森林資源部 主任専門研究員 高橋 健太郎）

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11 TEL 019-697-1536
岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410
ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>